

令和 8 年 9 月 箱根町教育委員会会議 会議録

1 開会及び閉会に関する事項

会議は、令和 8 年 9 月 24 日（木）午後 2 時、別紙、箱根町教育委員会会議次第に基づき、教育長が開会宣言を行い、順次、議事を進行させ、午後 3 時 10 分、教育長が閉会宣言をして議事を終了した。

2 開会場所

箱根町立郷土資料館 教育委員室

3 出席委員

井上康樹、勝俣正志、橋口裕子、高畠和之、青山ふみ

4 欠席委員

なし

5 出席職員

教育次長：吉田朋正、学校教育課長：山内圭、生涯学習課長：内田秀臣、学校教育課指導主事：真家悠太、教育相談センター所長：神保るり、学校教育課副課長：安藤恵実

6 傍聴人

なし

7 議事の概要

別紙のとおり

8 議題となった動議

なし

9 議決事項

議案 2 件〔原案可決〕

内容は別紙のとおり

10 その他教育長又は会議において必要と認めた事項

なし

(別紙)

会議次第 1. 開会

教 育 長 皆さん、こんにちは。今月は秋雨前線の停滞による記録的な日照不足となっており、北海道を除くほとんどの地点で9月上旬の累計日照時間が平年値を大きく下回り、東日本では平年の約38%に留まっています。日照時間が極端に短いことで、生活リズムの乱れや体調不良を訴える人が増えているとのこと、気持ちのよい秋空が恋しい今日この頃です。

そのような天候の中、秋のイベントが始まりました。第1週の土曜日には、箱根地域の健民祭が開催されましたが、残念ながら雨天のため、体育館での開催となってしまいました。次の日曜9月27日には湯本地域と宮城野地域で健民祭が行われ、来月には3小学校の運動会に温泉地域、仙石原地域の健民祭も行われます。爽やかな好天の下、開催されることを願っています。

さて、2期8年にわたって教育委員を務めていただいている橋口委員の任期が来月10月19日をもって満了となりますが、9月1日に開催された箱根町議会9月定例会で、橋口委員の再任が全会一致で同意されました。委嘱状は来月、町長より交付されます。橋口委員さん、3期目もどうぞよろしくお願いいたします。

それでは皆さん、今日の会議は2件の議案があります。本日も円滑な議事進行へのご協力をよろしくお願いします。

会議次第 2. 前回会議録の承認について

〔箱根町教育委員会会議規則第19条の規定に基づき作成したR8.8.20に開催した教育委員会会議の会議録が承認された。〕

会議次第 3. 教育長等諸報告について

(1) 会議等の謝辞・報告について

教 育 長 次第3. 教育長等諸報告について、お願いします。

学校教育課副課長〔謝辞及び報告事項を資料に基づき説明を行った。〕

会議次第 4. 議案

日程第1 議案第26号 箱根町大学等入学資金貸与者の決定について

会議次第 4. 議案

日程第2 議案第27号 箱根町大学等修学資金貸与者の決定について

教 育 長 それでは議事に入ります。本日の議題は次第のとおり議案2件です。日程第1議案第26号、箱根町大学等入学資金貸与者の決定についてと日程第2議案第27号、箱根町大学等修学資金貸与者の決定については貸与者が同一人であるため一括審議としたいと思いますが、これにご異議ございませんか。

委 員 異議無し。

教 育 長 ご異議が無いようですので、議案第 26 号と議案第 27 号は一括審議とします。事務局は、議案第 26 号と議案第 27 号の説明をお願いします。

学校教育課副課長〔議案第 26 号、27 号朗読、説明〕

教 育 長 ただいまの説明についてご不明な点があれば質問願います。よろしいですか。それでは審議に入りたいと思います。委員の皆さんからご異議、ご意見等はございますか。特にご異議、ご意見等はないようですので最初に、議案第 26 号を採決します。

本議案について、原案の通り決定することに賛成の方は挙手をお願いします。全員賛成。よって、議案第 26 号は原案の通り決定いたしました。

次に議案第 27 号を採決します。本議案について原案のとおり決定することに賛成の方は挙手をお願いします。全員賛成。よって、議案第 27 号は原案のとおり決定いたしました。

議案は、以上となります。

会議次第 5. 協議事項

なし

会議次第 6. 報告事項

(1) 令和 8 年度全国学力・学習状況調査の結果分析の公表について

教 育 長 はじめに、(1) 令和 8 年度全国学力・学習状況調査の結果分析の公表について、お願いします。

学校教育課指導主事〔資料 1 に基づいて説明〕

本調査は、4 月 23 日に小学校の国語と算数、中学校の国語と数学が、中学校の英語「読むこと」「書くこと」「聞くこと」は 4 月 20 日に、「話すこと」は 4 月 28 日に実施されました。中学校の英語の調査日が異なるのは、文部科学省 CBT システム (MEXCBT) によるオンライン方式で実施された為です。

調査は、町立 3 小学校の 6 年生児童 44 名と箱根中学校 3 年生 44 名が受けました。人数が少ないため、1 人当たりの持っているパーセンテージの割合が大きく、「小・中学校ともに、約 2.3%」となっています。その為、本調査の分析については、数値だけで判断するのではなく、個々の児童・生徒がどのような間違いをしたのかを捉え、課題を見つけ、今後の指導に生かしていくことを重視しています。

正答率については、小学校の算数では、全国平均との差が縮まり、ほぼ全国平均に近い結果となりましたが、小・中学校の国語、数学、英語については全国平均を下回る結果となりました。

まずは、小学校の国語です。言葉の特徴や使い方は定着しているが、情報の関係理解や自分の考え・経験を文章にまとめて表現する設問で正答率が低く、無解答率が高い課題が見られました。

算数では、全国平均との差が縮まり、ほぼ全国平均に近い結果となりました。「図形」や「変化と関係」の領域で成果が見られた一方、小数の計算

★ホームページ公開用会議録要旨★

や分数の仕組みといった「数と計算」や、表やグラフの記述及びその理解などの「データの活用」の領域に課題が見られました。

次に中学校の国語です。表現工夫や根拠・理由を明確にして自分の考えを分かりやすく伝えるといった、記述・論理的説明力の育成が求められます。

数学では、全国平均との差が前年度より広がり、特に「図形」「データ活用」領域や数学的に説明する力に課題が見られました。

英語では、全体では全国平均を下回りましたが、「聞き取り」問題で全国平均を上回る成果が見られた一方で、「書くこと」・「読むこと」の領域においては課題が見られました。

児童・生徒に対する質問調査の分析内容は「成果及び強み」、「課題」、そして「今後への方向性や対応策」というように大きく3つに分けて、簡潔にお伝えいたします。

まず、「成果及び強み」ですが、児童・生徒への手厚い関わりと学習意欲との関連が見られました。具体的には、小学校において、教員の承認・相談態勢や丁寧な指導に対する肯定率が全国平均以上であり、全員が協力して課題解決に取り組んでいると回答していました。また、中学校では、思いやりやいじめ否定の道德意識が高く、9割以上が肯定的な回答をしており、ICTを活用した「探究学習」への積極性や「英語の勉強が好き」とする割合が全国平均を上回っていました。併せて、小学校・中学校ともに英語学習への前向きな成果が見られました。

一方「課題」については、まず、家庭学習の習慣と生活習慣について挙げられます。具体的には、授業時間外の学習時間（1日1時間以上）について、小・中学校ともに全国平均を下回っており、特に中学生では昨年度より若干ですが減少していました。また、小学生の半数以上で1日3時間以上のSNS・動画視聴や不規則な就寝・起床が見られました。次に、教科への苦手意識と読書習慣の定着についての課題が挙げられます。具体的には、中学校では国語・数学への苦手意識が強く、また「全く読書をしない」という生徒が半数以上いました。

最後に「今後の方向性や対応策」ということですが、2点お伝えいたします。

まず、1点目は、「基礎力の定着と授業改善」です。一朝一夕では改善できるものではありませんが、小・中の円滑な連携を図り、個別最適な指導や理由を示して考えを深める力が身に付くような表現力を育む授業改善の推進が必要になると考えます。

2点目は、「家庭との連携」です。具体的には、携帯電話やゲーム、動画視聴などのルールやマナー、そして、家庭学習や読書習慣の定着に向けて学校と家庭で協力し合い、一貫した取組を進めていくことが大切だと考えます。

★ホームページ公開用会議録要旨★

本調査は、どうしても小学校 6 年生と中学 3 年生の担任に関するものという意識があります。子どもに学力をつけていくためには、調査の当該学年に限らず、全学年で系統的に指導していくことが重要です。そのため、今回の分析結果をもとに、今後、校内研究会等で各校を訪問して、授業改善や学習指導の充実につながるように丁寧に伝えていく予定です。

また、本資料である調査の分析結果は、箱根町のホームページに掲載する予定です。私からの説明は以上になります。

教 育 長 調査結果の分析について報告がありましたが、委員の皆さんから何かご質問、またご意見等ございますか。

委 員 中学生の質問調査で「学校の授業時間以外に、毎日 30 分以上読書をしている」と回答した生徒の割合が全国平均上回ったとのことですが、全国平均はどのくらいですか。

指導主事 18%です。

委 員 小学校の算数が全国平均との差が縮まったということ、すごく嬉しく、子どもたちががんばっていると思いますが、「数直線上の 1 を表す目盛りを捉えることができていない児童が多かった」とか、「立方体の体積と正方形の面積の求め方を混同してしまっている」というのは、これは基礎基本の部分で本当にもったいないと思います。さきほどの指導主事からのお話しにあったように、今後基礎・基本の定着をもう一度見直せば全国平均に近い結果ではなくて上回る結果も期待ができそうな感じがしました。

それから小学校の国語で、「文章の続きを書く問題の正答率が低かった」とあります。続きを自分なりに想像して書くこと、これからの子どもたちには必要な力だと思います。なので、この辺も授業改善の中で、表現力を育む、考えて想像するという力をつける、この辺も先生方に頑張ってほしいと思いました。

中学校の数学も例えば、「反比例の関係を捉えて x の値に対する y の値を求めることに課題が見られた」とありますが、反比例は小学校で習いますよね、なのでそこら辺の部分なのかなと思います。皆頑張っているので、中学校も全国平均に近づくんじゃないかと期待しております。

教 育 長 ありがとうございます。真家指導主事には何か折を見つけて学校へ伝えて欲しいと思います。

会議次第 6. 報告事項

(2) 第 35 回箱根町グラウンドゴルフ大会の結果について

教 育 長 (2) 第 35 回箱根町グラウンドゴルフ大会の結果について、お願いします。

生涯学習課長 [資料 2 に基づいて説明]

会議次第 6. 報告事項

(3) 箱根町体育協会親睦会の結果について

教 育 長 (3) 箱根町体育協会親睦会の結果について、お願いします。

生涯学習課長 [資料3に基づいて説明]

会議次第 6. 報告事項

(4) 郷土資料館ワークショップの開催結果について

教 育 長 (4) 郷土資料館ワークショップの開催結果について、お願いします。

生涯学習課長 [資料4に基づいて説明]

委 員 事前に図工の授業の中で浮世絵を学んでいるとか、きっかけがあればもう少しイメージがわくと思うのですが、浮世絵というのが子どもたちにわかりにくいのだと思います。

会議次第 6. 報告事項

(5) 箱根町ニュースポーツフェスの開催結果について

教 育 長 (5) 箱根町ニュースポーツフェスの開催結果について、お願いします。

生涯学習課長 [資料5に基づいて説明]

委 員 学校の方から周知があったのは、マチコミの配信で夏休みが終わるような時期でした。あと、この時期は運動会もあります。

会議次第 6. 報告事項

(6) 磯の生物観察会の結果について

教 育 長 (6) 磯の生物観察会の結果について、お願いします。

生涯学習課長 [資料6に基づいて説明]

会議次第 6. 報告事項

(7) 小中学校の児童・生徒の様子について

教 育 長 (7) 小中学校の児童・生徒の様子について、夏休み明けの子どもたちの様子について報告してもらいます。

教育相談センター所長 各学校ともいろいろ工夫した活動をされていました。

湯本小学校は、グラウンドがドクターヘリの発着場所となっており、実際に発着があった際にも子どもたちは落ち着いて対応しており、その経験が貴重な学びの一つになっているとの報告がありました。また、防災教育にも力を入れており、非常食を実際に食べる「防災給食」の実施や、防火シャッターを下ろして行う実践的な訓練など、教職員による様々な工夫が行われていました。

園・小・中の連携については、幼稚園や保育園の副園長が小学校を訪れ、教頭を講師にしたリーダー研修を実施するなど、学校運営に関する協議が行われています。

児童数減少に伴う小集団化への対応としては、学年間の交流を多く持ち、様々な多集団を形成して互いの理解を深める工夫がなされています。これにより、教育活動がスムーズに進み、和やかな時間が過ごせている様子がうかがえます。その一方で、児童数が少ない環境ゆえに、つい支援や指導をしすぎてしまう傾向も見受けられるため、今後は少人数の良さを生かし

つつ、子どもたちの自立と成長を促していくことに留意しながら指導にあたっていく方針とのことでした。

箱根の森小学校です。まず、児童の主体的な活動として、運動会の種目を代表委員会で企画・運営する取り組みが行われています。幼児や保護者、地域の方に参加してもらう「触れ合い種目」について、学級会や代表者会議で子どもたちが話し合い、全員が楽しめて協力できる内容を自分たちで考えて決めるなど、自立した取り組みが見られます。

支援学級の児童が1学期に育てた野菜を使ってピザ屋さんを開くなどの調理実習を行い、個々の能力に合わせた学習の企画・指導が行われています。また、5年生は韓国の小学校とオンラインで交流しており、国際郵便でのやり取りなどを通じて、実際に英語を使って伝わった喜びを実感しているというお話がありました。

教職員や保護者・地域の様子については、教頭先生との対話の中で、職員がとても前向きで関係性が良く、風通しの良い職場環境であることが伺えました。PTAも新しいボランティア組織を立ち上げるなど非常に協力的であり、校内研究においても、特定の個人に負担が偏らないよう、みんなで教材研究を共同で行う姿勢がしっかりと根付いているとの報告がなされました。

仙石原小学校です。まず子どもたちの様子として、運動会をどう盛り上げるかについて学級で話し合い、応援団のあり方や学年児童会の種目などを真剣に考えて持ち寄るなど、自分たちで学校生活をより良くしようとする主体的な姿勢が見られます。また、読書活動においては、読み聞かせボランティアの協力により、普段は本嫌いな子どもも熱心に聞き入るなど、本に興味を持ち、本好きな児童が増えるきっかけとなっているとの報告がありました。

地震の避難訓練において、次々と起こる余震を想定して、全体でグラウンドに集合するのではなく、余震に対応できるやり方を模索し、緊急放送の中にガラスの割れる音などを入れて実際の状況をリアルに想定し、机の下に身を隠すなど、その時々状況に合わせた対応ができるように工夫した訓練が行われています。

教職員や学校運営の様子については、比較的若い世代の教員が多く、お互いに一生懸命協力しながら取り組んでいる姿が見られます。一方で、コロナ禍の中で教員としてのキャリアを重ねてきた背景もあり、児童主体の活動において「どこまで子どもたちに任せるべきか」という見極めの難しさも課題として挙げられています。今後は、行事を通じて何を育てるべきかを伝えていくとともに、教員自身にも考えさせていきたいということでした。さらに、保護者対応に苦慮する場面もあることから、今後はより一層丁寧な対応と細かな配慮が必要であるということでした。

箱根中学校では、生徒たちが夏休みから部活動等に熱心に取り組む姿が見られました。7月末には洞爺湖町の中学生を迎え、前日からの交流を通じ

★ホームページ公開用会議録要旨★

てお互いに声を掛け合い、充実した中学生同士の交流が実現しました。また、吹奏楽部が二ノ平の祭りや大文字焼きのオープニングなどの地域行事に参加し、地域に貢献したり、強羅駅には生徒手作りの提灯も飾られ、生徒たちの大きな励みとなりました。学習面では、地域の芸術や文化資源を生かしており、ポーラ美術館や成川美術館を見学して真剣に学ぶ様子が見られました。今後の文化活動発表会での合唱に向けて全校で取り組んでおり、全校合唱のパート練習では3年生が1年生を熱心に指導する姿が見受けられます。さらに、小田原アリーナで開催されたパラスポーツの合同大会に特別支援学級の生徒が参加し、チームワークを発揮して優秀な成績を収め、大きな充実感を得て帰ってきたようです。

教職員の様子としては、夏休みの行事に対する理解や参加意識が高く、分掌事務においても前例主義に陥らず、多方面からアイデアや提案を出して話し合いが進められています。一方で、教師側の思いが空回りしてしまうケースも見られるため、チームとして進め方を確認し、生徒たちをどう巻き込んでいくかについての指導・工夫が今後の課題として挙げられています。また、保護者とは行事等を通じて距離感を縮めていきたいというお話もありました。

全体を通してですが、各校とも、コロナ禍で十分な体験ができなかった時期を乗り越え、「自分たちで考え、自分たちで作る」体験を保障して、行事の中で子どもたちを育てようとする教職員の姿勢が見て取れました。防災教育においても各校の実態に合わせた工夫や安全研修が実施されています。タブレット端末は、低・中学年の児童が隙間時間を活用して主体的に学習を進めるなど、大変よく活用されていました。また、PTA ボランティアによる清掃や学校整備をはじめ、地域資源との連携など、地域全体で子どもたちを受け入れ、育てている実感があります。幼・小のリーダー研修や、小・中学校の養護教諭等による合同研修など、お互いの指導理念や実践を共有する取り組みも着実に進んでいます。さらに、不登校支援に加え、各小学校で問題となっている SNS や携帯電話の使い方に対しても、使い方教室を開催するなど迅速な対応が行われており、小中学校を通じて生徒指導上の課題に早期に対応して解決を図る姿勢が確認されました。

教育相談センターの現状と取り組みについてですが、まず、不登校支援については、全く学校に通えない児童・生徒に対してもパソコンを活用した学習により、出席が認められるなど、少しずつ理解が深まってきていると実感しておりますが、今後も引き続き理解の促進に努めてまいります。

次に、発達支援と学校現場との連携についてです。現在、学校現場では「個別最適な学び」を見出そうと、指導の研修に臨む先生方の意識が高まっておりますので教育相談センターとしても巡回指導の中で、先生方へしっかりと落とし込んでいきたいと考えております。また、交流級と在籍クラスとの連携をよりスムーズになっていくと子どもたちの成長に繋がると思っております。

★ホームページ公開用会議録要旨★

そうした日々の取り組みの中で、嬉しく感じたことがいくつかありますして、巡回時のアドバイスが一度きりで終わってしまうことも少なくない中、担任の先生がしっかりと受け止めて実践し、その後の様子をフィードバックしてくださったり、実際に活用している姿を巡回時に見せていただいたりすることがあります。そうした環境の中で、子どもたちがアドバイスを受け入れ、生き生きと意欲的に学んでいる姿を目にすると、私たちの巡回支援が無駄ではなく、しっかりと活着していると強く実感させられます。

こうした学校現場との連携を、今後は各学校にさらに増やしていきたいと考えております。

報告は以上です。

教 育 長 学校の様子について詳しく報告していただきました。今回の聴き取りは校長先生ですか？

教育相談センター所長 校長先生、教頭先生と私が全校巡回しましたので、その時の様子です。

会議次第 7. 連絡事項

(1) 第59回箱根町ロードレース大会について

教 育 長 次に連絡事項に入ります。最初に(1)第59回箱根町ロードレース大会について、お願いします。

生涯学習課長 [資料7に基づいて説明]

委 員 59回を迎える歴史深い大会です。参加すると、参加賞、完走賞も貰えて、子どもたちの励みになると思いますので、より多くの人に、小・中学生に参加していただきたいと思ます。

会議次第 7. 連絡事項

(2) 第49回芸能発表会について

教 育 長 (2)第49回芸能発表会について、お願いします。

生涯学習課長 [資料8に基づいて説明]

会議次第 7. 連絡事項

(3) 第36回箱根町ソフトバレーボール大会について

教 育 長 (2)第36回箱根町ソフトバレーボール大会について、お願いします。

生涯学習課長 [資料9に基づいて説明]

会議次第 8. その他

(1) 次回定例会への付議事項について

教 育 長 次第.8その他です。委員の皆さんから何かございますか。それでは11月の予定を決めたいと思います。

学校教育課副課長 11月27日は県市町村教育委員会連合会の研修会があります。

教 育 長 それでは24日から26日の間で確認をします。

(予定確認)

それでは、25日水曜日の14時からお願いします。

その他事務局何かありますか。それではこれで本日の定例会はこれで終わりにします。お疲れ様でした。

★ホームページ公開用会議録要旨★
【午後 3 時 10 分閉会】